

# リリースノート

製品 :DocAve<sup>®</sup> 5.3.1.0

リリース日 :2009年11月30日

パッケージ一覧 :フル パッケージおよびパッチ パッケージ (マネージャーとエージェント含む)

## 新機能と改良点

### ストレージ最適化

- **アーカイバおよび新機能**

本バージョンの DocAve では、SQL データベース外に保存されたコンテンツを含む、バックエンド上の SharePoint ストレージ システムの最適化に注力した製品パッケージを新規にリリースしました。DocAve アーカイバ for SharePoint は、[ 管理 ] タブから [ ストレージ最適化 ] タブへと移動しました。以前のプラン、ライセンス、そしてデータはすべてアーカイバへと完全にアップグレードされます。

- **特定の URL を SQL ストレージからオフロード**

新しいアーカイバをお使い頂くと、ビジネスルールに則った定期的なアーカイブだけでなく、URL の指定されたリストをアーカイブすることが可能になりました。CLI インターフェイスを利用してこの機能をお使い頂けます。

- **SQL でのプライマリ ストレージに対応したバイナリ ストア**

アーカイバでビジネスルールや条件に則って SharePoint の SQL データベースからコンテンツをオフロードすると同時に、バイナリ ストアでは、アップロード時に SQL データベースに入る前にコンテンツをキャプチャします。すべてのコンテンツは完全に SharePoint (検索、通知、ワークフロー、メタデータ、セキュリティなど) へと統合されていますが、SQL ではない第 1 階層のストレージ、またはクラウド ストレージ システムを最大限に活用することが可能です。

- **ファイルサーバー コネクタ : ファイルシェア ライブラリ**

新規ストレージ最適化機能の一部は、SharePoint 用ファイルシェア ライブラリになっています。SharePoint 上にドキュメント ライブラリとして導入することができ、外観や機能 (検索、通知、ワークフロー、メタデータ、セキュリティなど) は SharePoint に完全に統合されていますが、データの実体を SQL 外 (クラウド ストレージ システムを含む) のファイルサーバーへと保管することができます。ファイルサーバー上のすべてのデータは SharePoint ライブラリと同期される為、SQL サーバーへのデータの移行は必要ありません。製品の詳細については、弊社ウェブサイトの製品ページを参してください。

- **ファイルサーバー コネクタ：メディア ライブラリ**

SharePoint 上で DocAve のメディア ライブラリをお使い頂くことで、SharePoint のリッチ メディア管理（大容量ファイル）の機能を拡張します。組み込み式のビデオ プレーヤーおよび評価システムにより、クラウド ストレージ システムを含めた外部のコンテンツ データベース上に存在するソースら、エンドユーザーがコンテンツを直接ストリーミング表示できるようになります。SharePoint ライブラリ（上記参照）でお使い頂いている標準機能はすべてサポートされます。

## 管理

- **全体管理内のスケジュール検索**

DocAve の全体管理インターフェイスでスケジュール検索の機能が搭載されたことで、グローバルな SharePoint 展開に必須な包括的なセキュリティおよび管理レポートを提供することが可能になりました。

- **管理操作のスケジュール**

DocAve 全体管理では、ほぼすべての機能でスケジュール機能がサポートされます。これにより、営業時間外のメンテナンス用スケジュールや、ユーザー リストのポリシー励行に必要な繰り返しのスケジュール設定などにお使い頂けます。

- **管理レポートの強化**

掲示板、アンケート、ユーザーなどの包括的な情報を含め、管理レポートに強化機能が数点加えられました。

- **レプリケーター ダッシュボード**

レプリケーターで作成されたすべてのマッピングと最新の状態を一覧するダッシュボードが追加されました。自由度の高いコントロールにより、マッピングに失敗したジョブを再同期したり、メンテナンス中に特定の同期を一時停止することができます。

- **ストレージ最適化機能対応のレプリケーターおよびコンテンツ マネージャー**

管理者は、SharePoint 経由でストレージ最適化のデータを含むコンテンツをレプリケートまたはコピーする際、単一コンテンツのスタブ、コンテンツ自体、またはスタブとバックエンド データを代替ロケーションへ、の 3 種類からレプリケートまたはコピー対象として選択することができます。

## データ保護

- **HP Data Protector の SQL バックアップからのリストア**

DocAve リストア コントローラ for SharePoint をお使い頂くと、HP Data Protector の SQL レベル バックアップから、アイテム バージョン レベルまでの自由度でコンテンツをリストアすることができます。本機能は、バックアップ&リカバリーのライセンスに含まれます。

- **バックアップ コンテンツのフィルタ機能**

最小単位バックアップでは、SharePoint 内のコンテンツの各バージョンをバックアップする際にフィルタが可能になりました。

## 移行

- **Open Text Vignette から SharePoint への移行サポート**

OpenText Vignette にデータを保管するユーザーは、DocAve インターフェイス経由で SharePoint へ直接データを移行することができるようになりました。

- **Oracle Stellent から SharePoint への移行サポート**

Oracle Stellent にデータを保管するユーザーは、DocAve インターフェイス経由で SharePoint へ直接データを移行することができるようになりました。

## 全般

- **メディア サービスの Rackspace クラウド ストレージ対応**

上記ストレージ最適化部分での起債の通り、DocAve では、アーカイバ、バイナリ ストア、ファイルサーバー コネクタ、コンプライアンス Vault、そして最小単位バックアップから直接 Rackspace クラウド ストレージへデータを書き込めるようになりました。今後も他のストレージ システムのサポートを開始予定です。

- **IPv6 サポート**

IP version 6 が製品でサポートされるようになりました。

## 既知の問題

### データ保護

- **サイト コレクションおよびサイト レベルの最小単位バックアップ&リストア FBA サポート**

Forms Based Authentication は、現在サイト コレクションおよびサイト レベルの最小単位バックアップ&リストアではサポートされていません。

### 管理

- **全体管理 :400 サイト以上を選択時に、“すべて選択” を使用するとジョブが失敗します。**

この問題は、IE6 SP1 とそれ以下、IE7.0.5x とそれ以下などの Internet Explorer の旧バージョンで一般的に発生します。Internet Explorer の最新バージョンへ更新することをお勧めします：IE6 SP2, IE 7.0.6 とそれ以上、または IE8

- **レプリケーター：ファイルサーバー コネクタ データのリアルタイム複製サポート**

現時点では、ファイルサーバー コネクタのスタブはリアルタイム複製でサポートされていません。次期バージョンでサポート予定です。

- **アーカイバ :Windows Server 2008 SP2 の横断検索 Web パーツ サポート**

SharePoint から削除されたアーカイブ済みのコンテンツを検索する為に使用する横断検索 Web パーツは、現在 Windows Server 2008 SP2 上で解決不可能なエラーを返します。次期バージョンで修正予定です。